

二〇二五年九月一四日

相聞の碑に佇めば秋の声	わかば
釣人と呉越同舟島遍路	なつき
澄む水の底に日の斑の小躍りす	澄子
櫓の森風にうべなひ黄落す	むべ
グランドのフェンス隙なく蔦葛	康子
丘にたつ鹿の子夕日に影法師	澄子
秋天へ千手を翳す御神木	康子
ビオトープへと道とれば昼の虫	わかば
と見る間に大草原は霧の海	むべ

定例WEB句会みのる選

二〇二五年九月一四日